



平成 18 年 4 月 5 日

各 位

会 社 名 テクマトリックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 由利 孝
(JASDAQ・コード3762)
問合せ先 企画部長 高橋 正行
電話 03-5792-8601

シーメンス旭メディテック株式会社との業務提携に関するお知らせ

当社は、シーメンス旭メディテック株式会社（以下、シーメンス旭メディテック）との間で業務提携を行うことで合意いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業務提携の理由

平成 18 年度の医療報酬改定において「医療の IT 化を集中的に推進していく」ことが重点項目のひとつとして挙げられています。その中では、従来から注目度の高い電子カルテによる病歴管理等に加えて、医用画像管理システム（PACS）による放射線診断業務が「具備すべき要件」として IT 化の評価項目に上げられています。読影レポートシステムは、PACS において読影レポートを一元的に管理するシステムであり、これにより画像データとレポートの統合管理、ならびに過去レポートの検索・参照、読影レポートのステータス管理が可能になります。また読影レポートシステムは、顧客である医療機関から使い勝手等多様な要望が出るため、製品のカスタマイズ等による柔軟な対応が求められています。

シーメンス旭メディテックは、MRI や CT・CR をはじめとした最先端の医療機器や PACS 等の医療システムを販売しており、強力なブランド力、営業力、マーケティング力を有しています。一方、当社は、読影レポートシステムを含めた PACS を 100% 自社で開発しており、各顧客の個別の要望に柔軟に対応できる、ソフトウェア開発力、システム構築力を有しています。両社は、本年 1 月に開院した東海大学医学部付属病院（伊勢原市）の新病棟における完全フィルムレス PACS をはじめ、複数の医療機関において協業の実績を積み重ねてきました。このような実績から、両社が正式に提携することにより、ビジネスチャンスの拡大が見込めると判断いたしました。

2. 業務提携の内容

シーメンス旭メディテックと当社は、当社が開発・販売している読影レポートシステム「SDS Report」の国内における販売代理店契約を締結しました。シーメンス旭メディテックは、これを「XS-Report」の商品名で、自社の PACS「SIENET Sky」と組み合わせて販売します。シーメンス旭メディテックは平成 18 年 4 月から「XS-Report」の販売を開始し、今後 3 年間で 100 クライアントライセンスの販売を目指します。

また、今回の読影レポートシステムにおける提携をきっかけに、当社の持つ他の自社開発の医療関連ソフトウェアや医療分野におけるシステム構築業務についても協業関係をより一層深めていきます。



3. シーメンス旭メディテック株式会社の概要

- (1) 名 称：シーメンス旭メディテック株式会社
- (2) 事業内容：医療用機械器具の開発、製造、修理、保守、リース、輸出入及び販売
機械機具設置工事、建築工事及び内装仕上げ工事の請負等
- (3) 設 立：1979年4月6日
- (4) 所 在 地：東京都品川区東五反田3-20-13 高輪パークタワー
- (5) 代 表 者：代表取締役社長 ヨッヘン・ディック
- (6) 資 本 金：20億8202万円

4. 今後の見通し

本業務提携による業績への影響につきましては、今後発表いたします業績予想に織り込んでまいります。

以 上